

## 新型コロナウイルス感染症に関する活動指針

令和2年5月18日  
平成医療短期大学  
新型コロナウイルス感染症対策  
危機管理委員会

本指針は、新型コロナウイルス感染症に関し、本学の活動指針について定めるものであり、二つの部分からなります。

一つは、本学の危機対応状況について総括的に示すもので、カテゴリーA（要注意）、カテゴリーB（高度警戒）、カテゴリーC（緊急事態）という3つのカテゴリーに分かれています。

もう一つは、具体的な活動指針（レベル）として、学生の登校、授業（講義、演習、実習等）、事務業務（事務職員）、会議（教職員）、学生の課外活動、出張・旅行（教職員・学生）、授業・研究活動（教員）、学外者の入校という項目別に示しています。

本学の教職員は、この指針に基づいて、新型コロナウイルス感染症対策として必要となる様々な活動の対応方針について検討いただくようお願いします。

（注） 本指針は、岐阜大学で作成された活動基準をベースとして作成したのですが、本学に適合するよう変更を加えています。

### 危機対応カテゴリー【B】（令和2年5月18日以降）

カテゴリー	定 義
A（要注意）	国の緊急事態宣言が全国的に解除され、感染の危険性が大幅に減少したと認められる場合。
B（高度警戒）	岐阜県としては国の緊急事態宣言対象地域に指定されていないものの、全国的にはまだ指定地域が残っており、感染拡大が終息しているとは認められない場合。
C（緊急事態）	国や県の緊急事態宣言などにより休業等の要請がされた場合、学内関係者に感染者が発生した場合、など。

□ 具体的活動指針（令和2年5月18日以降）

項目	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
学生の登校	授業を受ける場合を除き登校を自粛 登校した場合も滞在は必要最小限	時間割変更による時差登校、早期下校等の感染防止措置を実施	原則として全学生登校禁止 (遠隔授業受講のための登校及び実習は可)	全学生登校禁止 (状況により遠隔授業受講のための登校及び実習も不可)
授業（講義、演習、実習等）	感染防止措置への配慮	部分的な遠隔授業の利用 面接授業は教室収容定員の6割以下	原則として講義は遠隔授業 演習及び実習は可	講義、演習は遠隔授業のみ 状況により実習も不可
事務業務（事務職員）	感染防止措置への配慮	在宅勤務を推奨	原則として在宅勤務 本学機能維持のため必要な職員のみ出勤	在宅勤務 (原則として出勤禁止)
出張・旅行（教職員・学生）	流行地域への出張・旅行注意	緊急事態宣言対象地域への出張・旅行の原則禁止	緊急事態宣言対象地域への出張・旅行の原則禁止 その他地域への出張・旅行は自粛	原則として出張・旅行禁止
会議（教職員）	感染防止措置への配慮	オンライン会議を推奨	10人程度以上の会議は原則オンラインで実施	オンライン会議のみ
学生の課外活動	感染防止措置への配慮	屋内での集会禁止等活動内容を制限	屋外での少人数活動のみ可	活動禁止
授業・研究活動（教員）	感染防止措置への配慮	在宅での研究活動を推奨 遠隔授業のための登校は可	原則として在宅で活動 遠隔授業のための登校は可	在宅で活動 遠隔授業のための登校も不可
学外者の入校	感染防止措置への配慮 入校した場合も滞在は必要最小限	本学運営のため不可欠な業務を行う者及び受験生のみ入校可	本学運営のため不可欠な業務を行う者のみ入校可	入校禁止

※原則として危機対応カテゴリーとの関係は次のとおり

- カテゴリーA → レベル1
- カテゴリーB → レベル2
- カテゴリーC → レベル3又は4

□ 具体的活動指針（令和2年6月1日以降）

項目	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
学生の登校	授業を受ける場合を除き登校を自粛 登校した場合も滞在は必要最小限	時間割変更による時差登校、早期下校等の感染防止措置を実施	原則として全学生登校禁止 (遠隔授業受講のための登校及び実習は可)	全学生登校禁止 (状況により遠隔授業受講のための登校及び実習も不可)
授業（講義、演習、実習等）	感染防止措置への配慮	部分的な遠隔授業の利用 面接授業は教室収容定員の6割以下	原則として講義は遠隔授業 演習及び実習は可	講義、演習は遠隔授業のみ 状況により実習も不可
事務業務（事務職員）	感染防止措置への配慮	在宅勤務を推奨	原則として在宅勤務 本学機能維持のため必要な職員のみ出勤	在宅勤務 (原則として出勤禁止)
出張・旅行（教職員・学生）	流行地域への出張・旅行注意	緊急事態宣言対象地域への出張・旅行の原則禁止	緊急事態宣言対象地域への出張・旅行の原則禁止 その他地域への出張・旅行は自粛	原則として出張・旅行禁止
会議（教職員）	感染防止措置への配慮	オンライン会議を推奨	10人程度以上の会議は原則オンラインで実施	オンライン会議のみ
学生の課外活動	感染防止措置への配慮	屋内での集会禁止等活動内容を制限	屋外での少人数活動のみ可	活動禁止
授業・研究活動（教員）	感染防止措置への配慮	在宅での活動を推奨 遠隔授業のための登校は可	原則として在宅で活動 遠隔授業のための登校は可	在宅で活動 遠隔授業のための登校も不可
学外者の入校	感染防止措置への配慮 入校した場合も滞在は必要最小限	本学運営のため不可欠な業務を行う者及び受験生のみ入校可	本学運営のため不可欠な業務を行う者のみ入校可	入校禁止

※原則として危機対応カテゴリーとの関係は次のとおり

カテゴリーA → レベル1

カテゴリーB → レベル2

カテゴリーC → レベル3又は4

□ 具体的活動指針（令和2年6月15日以降）

項目	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
学生の登校	授業を受ける場合を除き登校を自粛 登校した場合も滞在は必要最小限	時間割変更による時差登校、早期下校等の感染防止措置を実施	原則として全学生登校禁止 (遠隔授業受講のための登校及び実習は可)	全学生登校禁止 (状況により遠隔授業受講のための登校及び実習も不可)
授業（講義、演習、実習等）	感染防止措置への配慮	部分的な遠隔授業の利用 面接授業は教室収容定員の6割以下	原則として講義は遠隔授業 演習及び実習は可	講義、演習は遠隔授業のみ 状況により実習も不可
事務業務（事務職員）	感染防止措置への配慮	在宅勤務を推奨	原則として在宅勤務 本学機能維持のため必要な職員のみ出勤	在宅勤務 (原則として出勤禁止)
出張・旅行（教職員・学生）	流行地域への出張・旅行注意	緊急事態宣言対象地域への出張・旅行の原則禁止	緊急事態宣言対象地域への出張・旅行の原則禁止 その他地域への出張・旅行は自粛	原則として出張・旅行禁止
会議（教職員）	感染防止措置への配慮	オンライン会議を推奨	10人程度以上の会議は原則オンラインで実施	オンライン会議のみ
学生の課外活動	感染防止措置への配慮	屋内での集会禁止等活動内容を制限	屋外での少人数活動のみ可	活動禁止
授業・研究活動（教員）	感染防止措置への配慮	在宅での活動を推奨 遠隔授業のための登校は可	原則として在宅で活動 遠隔授業のための登校は可	在宅で活動 遠隔授業のための登校も不可
学外者の入校	感染防止措置への配慮 入校した場合も滞在は必要最小限	本学運営のため不可欠な業務を行う者及び受験生のみ入校可	本学運営のため不可欠な業務を行う者のみ入校可	入校禁止

※原則として危機対応カテゴリーとの関係は次のとおり

カテゴリーA → レベル1

カテゴリーB → レベル2

カテゴリーC → レベル3又は4